

りの推進、すなわち「事前復興」に取り組むべきだ。

市長 持続可能なサステナブル都市を目指す本市の取り組みは、事前復興につながるものと考えている。

議員 震災後、元どおりの生活に戻るには長い年月がかかる。その間に孤独死、震災関連死、震災障がい者等の「復興災害」が起きないよう、平時の今できることを着実に進めるべきだ。

市長 時間軸に沿った適切な支援を構築しなければならぬ。地域ケアネットワークなどを通じた日常的な関係づくりが災害時の共助に結びつき、復興災害を防ぐことを期待している。

議員 震災後、被災者の心身の健康を保つため、本市は多摩総合精神保健福祉センターと連携して心のケアにあたるべきだ。

健康福祉部長 同センター内にあるこのケアチームを結成し、市の保健師もそこに加わる想定だ。

議員 本市は国の法定計画に従い、平成25年度に地域防災計画を改定したが、そこに定める災害復興計画は概略を示したものに過ぎない。迅速かつ円滑な震災復興を行うために、手順を明確にしたマニュアルが必要である。努力義務ではあるが「三鷹市震災復興マニュアル（仮称）」を整備するよう早急に検討すべきだ。

企画部長 都のマニュアル改定に合わせ、地域防災計画を拡充する必要がある。

議員 杏林大学は「地域と大学の地（知）の連携事業」を実施している。平成28年度に本市に移転する同大学との連携で、震災復興模範訓練ができないか。

市長 復興模範訓練は役割分担等の検討に時間を要する。杏林大学とは今後も協働研究等を継続する。



災害時医療連携訓練（杏林大学病院）

誰もが住み続けたいまちづくりの推進を



民主党 谷口 敏也 議員

議員 小型家電には有用な鉱物が含まれており、天然資源の少ない日本では大事にしなければならぬ。小型家電リサイクル法に基づく本市の回収の取り組み状況と拡充策について伺う。

生活環境部長 市内10カ所にボックスを設置して無償回収している。本年3月から、新たに宅配事業者を活用したりサイクルを行う。議員 町会や自治会による集団回収は、再資源化拡充に大きな役割を果たしている。コミュニティ創生の観点からも、登録団体数を増やす取り組みが必要だ。

市長 今後も集団回収が果たす役割について、更なるPRをしていきたい。

議員 都市計画道路の整備は、費用対効果や財政状況を鑑み、本当に必要な判断を推し進めたい。既存道路の拡幅も含め、市民の意見を反映させた一部見直しや廃止の可能性を伺う。

都市整備部調整担当部長 第四次事業化計画（案）の中で計画検討路線に位置付けられた路線については、各路線の課題に応じて地元

の意見の把握に努めながら、既存道路の拡幅整備の方法も含め、検討していく。

議員 グローバル化に対応した、より実践的な英会話授業の推進に向け、小・中学校教諭のスキルアップが重要だ。本市の現状を伺う。

教育長 小学校において

は、外国語活動アドバイザーを派遣し、英語授業の改善の指導、助言を行っている。中学校においては、講師を招聘し、授業力、英語運用力の向上を目指した研修を実施している。

議員 各高等学校の文化祭での生徒の企画による出店やイベントの実施などは、起業という点でキャリア・アントレプレナーシップ教育の実践版と言える。小・中学校における文化祭の実施について所見を伺う。

教育長 現段階では文化祭の実施は考えていないが、地域行事への参加等、生徒が地域で活躍できる取り組みを進めていきたい。

会派名は、一般質問が行われた時点での名称で表記しています（一面参照）。

都市計画における権限のあり方を問う



無所属 半田 伸明 議員

議員 市は用途地域の指定に関する権限を持ってはいるが、実際の開発行為に当たっては、都の許可が必要となっている。このことは市の用途地域の決定権限が実質的に機能していない状況だと考える。所見を聞く。

市長 基本的な基準や手続きを都が運用する中で、市は特色のある開発指導を実施することが可能であり、その内容を担保する用途地

域の決定権限の移譲は意義のあることと考えている。

議員 防災面を考慮すると開発行為に当たっては、一定間隔で6メートル道路が

辺野古への米軍基地建設を地方自治の立場から問う



やさしい市政へ 伊沢 けい子 議員

議員 昨年9月、政府は安全保障関連法案を成立させ、自衛隊を米軍の要請に従って派兵できるようにした。日本が戦争に巻き込まれるどころか、当事者となることを意味し、取り返しのつかないことになってしまっている。政府は地方の声を傾けず工事を行うおとししている。戦争になれば、三鷹市民にとっても非常に重大な問題だ。

市長 戦争のない平和な世界をつくるということへの思いは同じだ。三鷹市における平和施策の推進に関する条例の理念と目的、その役割についてはしっかりと果たしていきたい。

議員 本市では動物の遺骸が発見された場合、委託事業者が、回収場所、日時、動物の特徴などのメモを回収袋に貼るだけだ。ペットを捜索する飼い主は、冷凍保管庫に日参して目視確認をしなければならない。問い合わせに対応できるよう、画像を取得すべきだ。

生活環境部長 遺骸が置かれていない場所は交通量が激しい場所が多く、その場で写真撮影は困難である。

議員 動物虐待が死因の可能性もある。犯罪の有無を含めて通報義務があるにも関わらず、なぜ警察を呼ぶ

納税者の視点に立った市政運営のあり方を問う



東京維新の会 増田 仁 議員

議員 本市では動物の遺骸が発見された場合、委託事業者が、回収場所、日時、動物の特徴などのメモを回収袋に貼るだけだ。ペットを捜索する飼い主は、冷凍保管庫に日参して目視確認をしなければならない。問い合わせに対応できるよう、画像を取得すべきだ。

生活環境部長 遺骸が置かれていない場所は交通量が激しい場所が多く、その場で写真撮影は困難である。

議員 動物虐待が死因の可能性もある。犯罪の有無を含めて通報義務があるにも関わらず、なぜ警察を呼ぶ

「共生」できるまちづくりについて



にじ色のつばさ 野村 羊子 議員

議員 電通の調査ではLGBT（性同一性障害を含む性的マイノリティー）の人は7.6%となっている。本市役所にも何十人もLGBTの人が働いている可能性があるのではないかと。LGBTの理解促進のための具体的施策と率先行動を聞く。

市長 男女平等参画のための三鷹市行動計画2022等に位置付け、講座等の実施を検討している。また、市町村職員研修所では性的マイノリティーをテーマとした研修を計画している。

議員 教職員と子どもたちがLGBTに対する知識、

議員 真の地方分権、地方創生実現のためにも、市民活動資料の保管・公開は重要なことだ。市史発行の際に市民活動の記録が資料として活用されたのか伺う。

市長 いずれも記録を活用したような記載はない。

議員 市民活動センターに市民活動資料・情報センターの機能を期待したが、十分な機能を果たすまでには至っていない。市は市民活動情報報をどのように収集・保管しているのか伺う。

生活環境部調整担当部長 個々の市民活動団体の活動記録等についての計画的な

市民活動資料情報センター設立を支援し三鷹の創生を



にじ色のつばさ 嶋崎 英治 議員

議員 真の地方分権、地方創生実現のためにも、市民活動資料の保管・公開は重要なことだ。市史発行の際に市民活動の記録が資料として活用されたのか伺う。

市長 いずれも記録を活用したような記載はない。

議員 市民活動センターに市民活動資料・情報センターの機能を期待したが、十分な機能を果たすまでには至っていない。市は市民活動情報報をどのように収集・保管しているのか伺う。

生活環境部調整担当部長 個々の市民活動団体の活動記録等についての計画的な

市長 現段階では、どのような事業にするか定まってい